

2025年3月期 決算概要

2025年5月23日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2025年3月期 決算概要

※ 本資料では、中期経営計画「バリュークリエーション」を「ブイシー（VC）」と呼称
「株式会社ミスミグループ本社」を「ミスミグループ」と呼称

2025年3月期 4Q決算ハイライト

日本市況は停滞しているが中国の景況感回復傾向もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前期比106.5%、24億円増の408億円
	日本	前期比93.4%の116億円 医療関連は好調だが、特に電子部品・半導体関連の落ち込みの影響大
	中国	前期比114.4%の233億円 自動車関連の復調もあり増収
	東南アジア	前期比102.6%の19億円 インド、ベトナム、マレーシアは好調だが、シンガポールが不調
	欧米他	前期比108.8%の38億円 欧州他が好調に推移、米州は堅調
利益		営業利益は、前期比135.9%の1,685百万円 経常利益は、前期比113.5%の1,613百万円 親会社株主に帰属する当期純利益は、868百万円 (前期は親会社株主に帰属する当期純損失577百万円)
ネット資金		当期純利益の計上等により、期首から1,083百万円増加

■ 2025年3月期 決算ハイライト

- 売上面では、日本の市況は引き続き停滞しているものの、中国の景況感の回復傾向がそれを上回り、増収
- 利益面では、中国での増収効果が貢献し、連結で増益を確保

損益計算書サマリー

(単位: 百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前期差	前期比
売上高	38,344	40,822	2,477	106.5%
営業利益	3.2% 1,240	4.1% 1,685	444	135.9%
経常利益	3.7% 1,421	4.0% 1,613	191	113.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	- ▲ 577	2.1% 868	1,445	-

【為替レート(実績)】 1人民元=21.03円/1USドル=151.44円

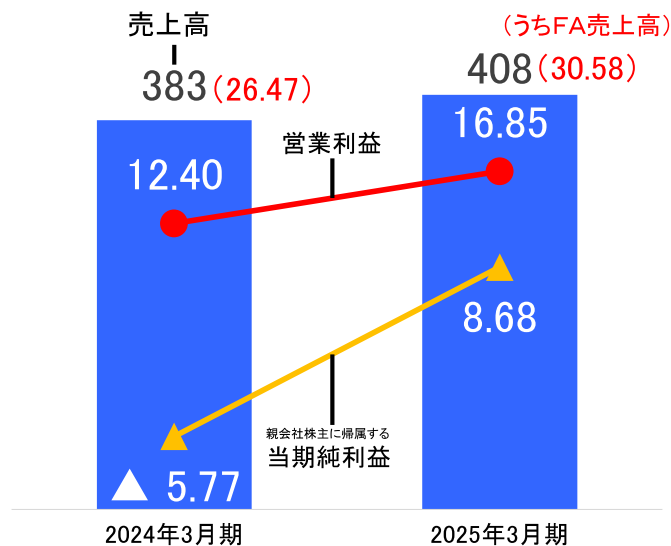
■ 決算数値の概要

■ 売上高は408億22百万円で前期比106.5%、24億77百万円の増収

■ 営業利益は16億85百万円、経常利益は16億13百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億68百万円

売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

売上高	24	億	77	百万円	増収
営業利益	4	億	44	百万円	増益
純利益	14	億	45	百万円	増益

※親会社株主に帰属する当期純利益

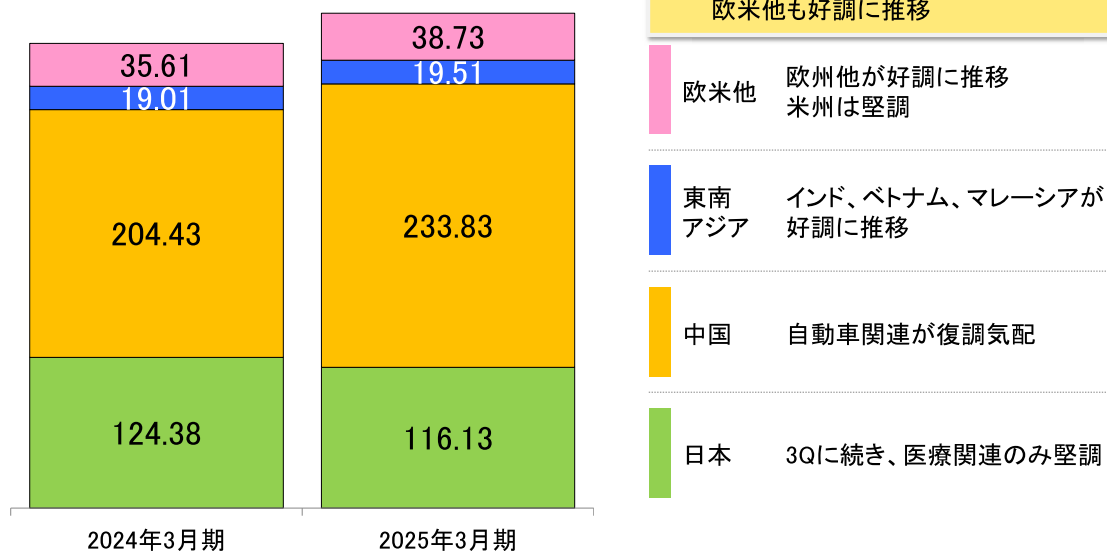
■ 2024年3月期と2025年3月期の売上高・利益比較(通期)

■ FA売上含め前年同期の数値と比較して、増収増益

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

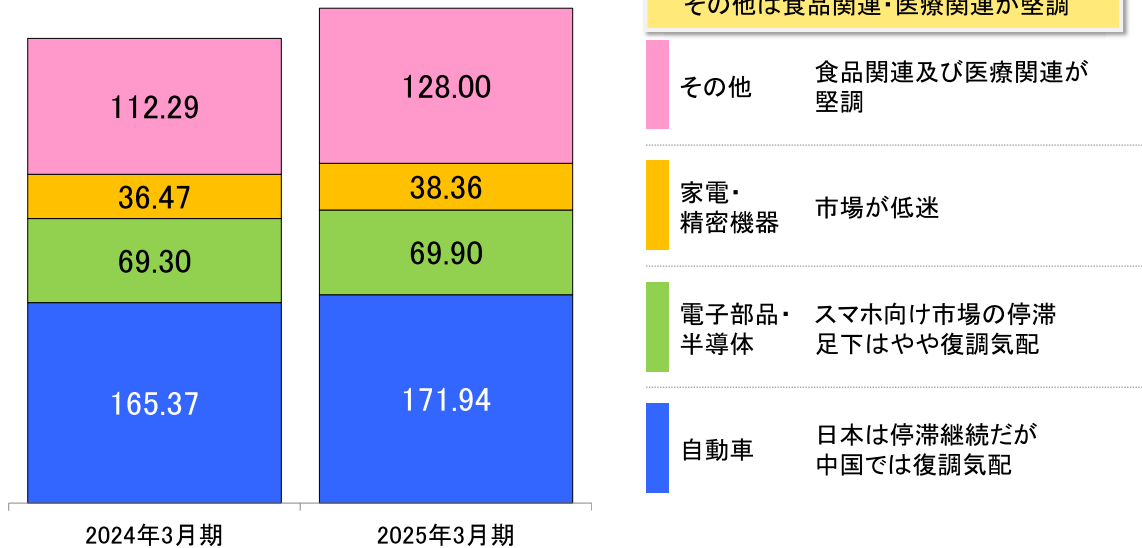
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

- 2024年3月期と2025年3月期の地域別の売上高比較(通期)
- 日本が前期を下回った一方、中国・東南アジア・欧米他が前期を上回る実績
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

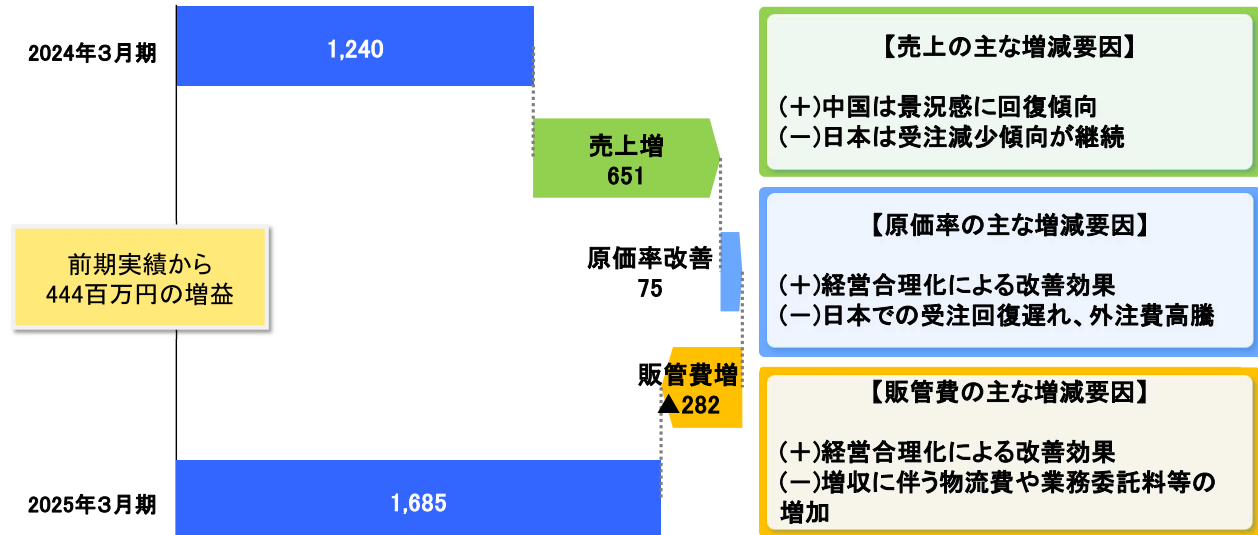
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

- 2024年3月期と2025年3月期の業種別の売上高比較(通期)
 - 自動車関連は、日本では引き続き停滞しているが、中国では復調気配
 - 電子部品・半導体関連は、日中ともにスマホ向け市場が停滞しているが、中国では足下でやや復調気配
 - 家電・精密機器関連は市場全体が低迷しているものの、為替の影響もあり増収
 - その他は食品関連が引き続き堅調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減

(単位: 百万円)



■ 2024年3月期と2025年3月期の営業利益の増減分析

- 前期の営業利益12億40百万円に対して、売上増による6億51百万円の増益効果

原価率は、経営合理化による改善効果があったものの、材料費の高止まりや外注費高騰等のコスト増加要因もあり、75百万円の改善に留まる

販管費は、経営合理化による改善効果はあったものの、業務委託料等の増加や増収に伴う物流費の増加もあり、2億28百万円減益影響

- 結果、2025年3月期の営業利益は、前期から4億44百万円の増益となり、16億85百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位: 百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期末	比較増減
総資産	29,649	32,970	3,320
総負債	10,899	10,931	32
うち有利子負債	3,721	3,101	▲ 461
純資産	18,750	22,038	3,287
ネット資金	2,310	3,393	1,083
自己資本比率	63.1%	66.7%	3.6pt
株主資本利益率(ROE)	—	5.4%	—
投下資本利益率(ROIC)	3.9%	6.0%	2.1pt
設備投資額(無形固定資産含む)	915	1,058	142
減価償却費(無形固定資産含む)	1,166	1,177	11

■ 貸借対照表サマリー

- 総資産は、主として投資有価証券の増加、売掛金の増加等により、33億20百万円の増加
- 総負債は、有利子負債は減少したものの、支払手形及び買掛金の増加等により、32百万円の増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加、新株の発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加等により、32億87百万円の増加
- 結果、自己資本比率は前期末から3.6ポイント上昇し、66.7%
- 資本効率については、投下資本利益率(ROIC)が6.0%と、前期を上回ったものの、目標としている10%に未達
- 設備投資額は、事業再編を進める中、省力化・自動化投資への絞り込みを行ったこともあり、前期から1億42百万円増加の10億58百万円

キャッシュ・フローサマリー

(単位: 百万円)

	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,276	2,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 680	▲ 2,415
フリーキャッシュ・フロー	596	▲ 143
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2	181
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	791	446
現金及び現金同等物の期末残高	6,003	6,450

■ キャッシュフローサマリー

■ 営業CFは22億71百万円の収入

■ 投資CFは24億15百万円の支出

通常の設備投資による支出に加え、投資有価証券の取得による支出

■ フリーキャッシュフローは1億43百万円のマイナス

前期より7億40百万円の減少

■ 最終的に、期末の現金及び現金同等物残高は64億50百万円

前期から4億46百万円の増加

2026年3月期 通期連結業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2025年3月期 (実績)		2026年3月期 連結累計期間			
			業績予想	前期差	前期比	
売上高		40,822		39,880	▲ 942	97.7%
営業利益	4.1%	1,685	2.9%	1,150	▲ 535	68.2%
経常利益	4.0%	1,613	2.8%	1,130	▲ 483	70.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.1%	868	0.5%	180	▲ 688	20.7%
株主資本利益率(ROE)		5.4%		1.1%	▲ 4.3pt	
投下資本利益率(ROIC)		6.0%		4.0%	▲ 2.0pt	

2026年3月期
配当予想

18円12銭(予定) = 中間 9円06銭 + 期末 9円06銭

【為替レート】 1人民元=19円50銭/1USドル=142円00銭 【設備投資】 設備投資額:14億円 減価償却費:11億円

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

9

■ 2026年3月期の通期連結業績及び配当の予想

- 2025年3月期で前・中期経営計画「VC2024Revival」は終了したため、本来であればここで新たな中期経営計画を策定・公表すべきところだが、2024年10月にミスミグループとの間で資本業務提携契約を締結したことで、この提携による業績改善効果を測定する期間として、中期経営計画を1年間休止(2024年11月に公表済み)し、その後、より精度の高い中期経営計画を策定・公表する予定

- 足下の景況感をベースに、今後予想されるリスク要素を織り込み、現時点での業績予想を公表
ミスミグループとの提携効果が今期は限定的であると見込まれる中、国内の業績回復遅れ等が大きく影響
売上高は前期比2.3%減となる398億80百万円
営業利益は前期比31.7%減となる11億50百万円
親会社株主に帰属する当期純利益は前期比79.3%減となる1億80百万円
大幅な減収減益予想

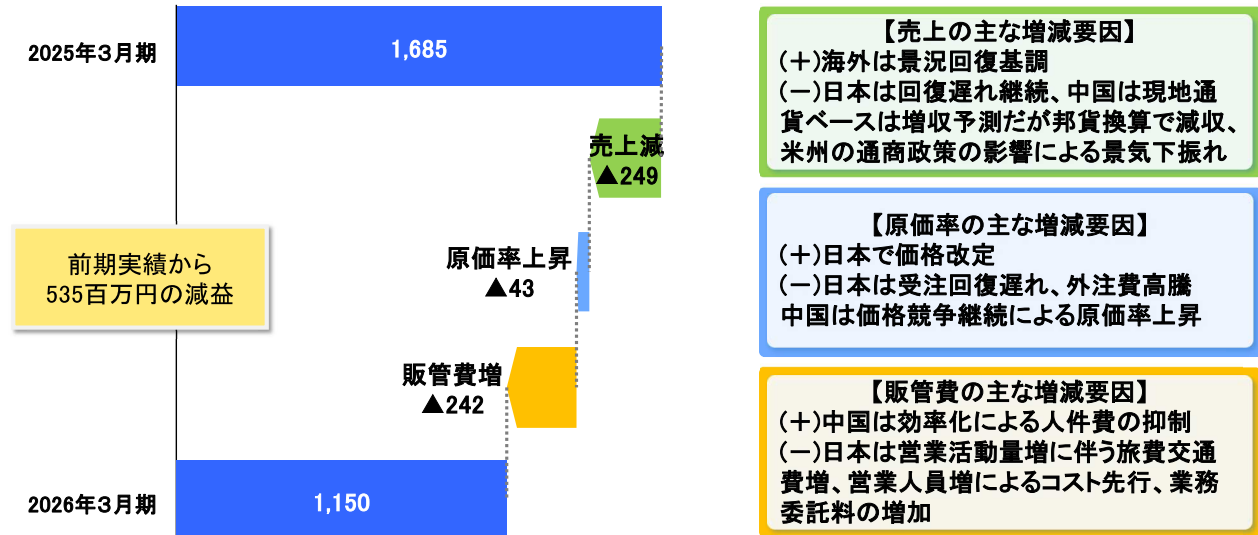
- 配当予想は、株主資本配当率(DOE)3%をベースに算定した結果、年間で18円12銭

- 想定為替レートは、1人民元=19円50銭、1USドル=142円

- 設備投資計画は約14億円、減価償却費は約11億円を見込む

営業利益増減(2026年3月期の業績予想)

(単位: 百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

10

■ 2025年3月期と2026年3月期(予想)の営業利益の増減分析

■ 業績予想値における営業利益の増減について補足説明

- 日本事業においては、引き続き、経営合理化後に早期希望退職対象外の退職者が想定外にでた影響が継続しており、体制整備にはもう少しばく時間を要する状況であり、営業体制再構築までの間、人員増によるコスト先行が予想されており、これが業績悪化の主要因

- 売上は、中国や東南アジアは回復基調ながら、為替の影響により減収、国内の売上減少と合せて、全体としても減収となっており、それによる営業利益へのインパクトが2億49百万円

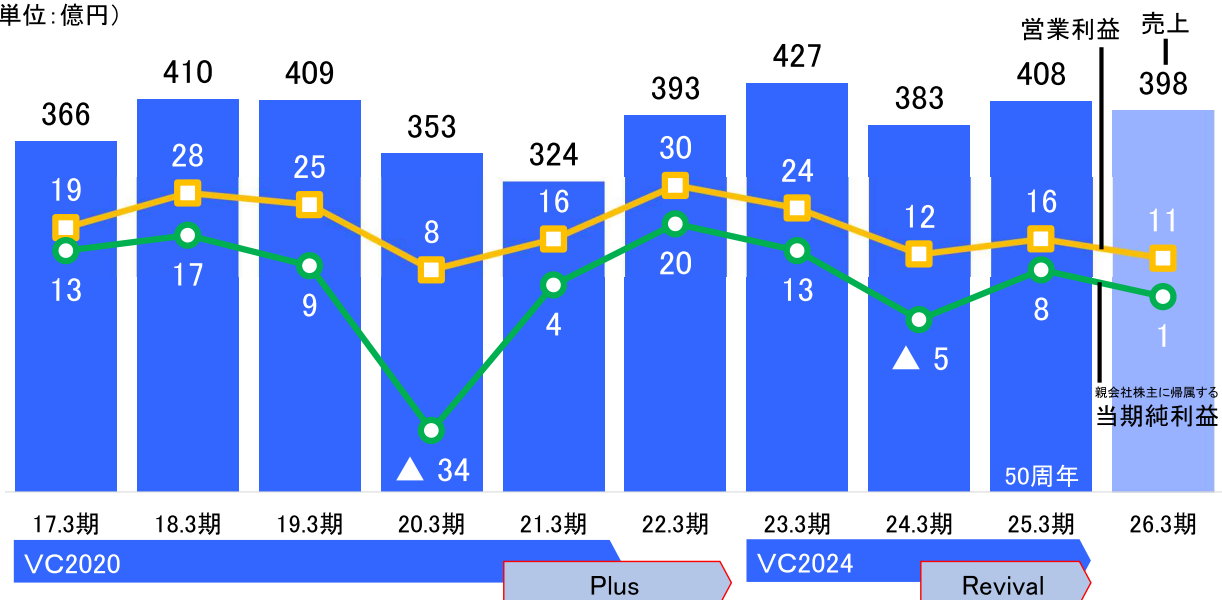
国内の外注費高騰、中国の価格競争継続などによる原価率上昇が43百万円

国内の営業人員増などによる販管費増加が2億42百万円

- 営業利益は、前期の16億85百万円から、5億35百万円減益の11億50百万円を予想

経営数値の推移

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

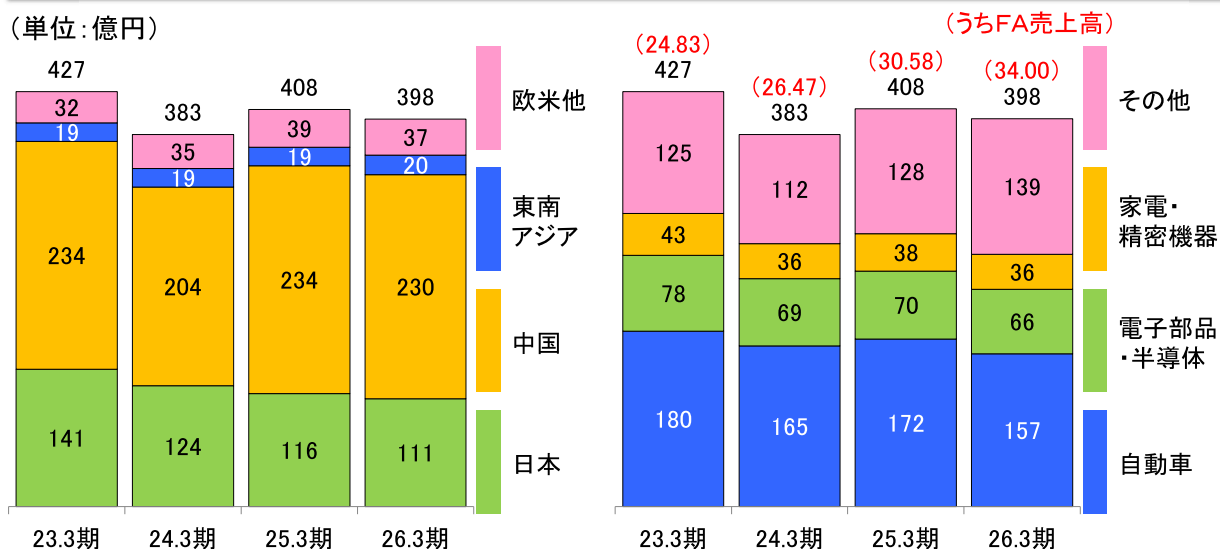
11

- 直近の中期経営計画期間中の売上・営業利益・当期純利益の推移をグラフ化
- 大きな特別損失を計上した2020年3月期からは回復傾向にあるものの、日本事業の立て直しが急務だと認識しており、各種の取組み強化や改革のスピードアップを目指す

地域別・業種別売上(FA含む)の推移

日本は営業人員不足による受注低迷継続、海外は景況回復基調も為替影響もあり連結では減収予測

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

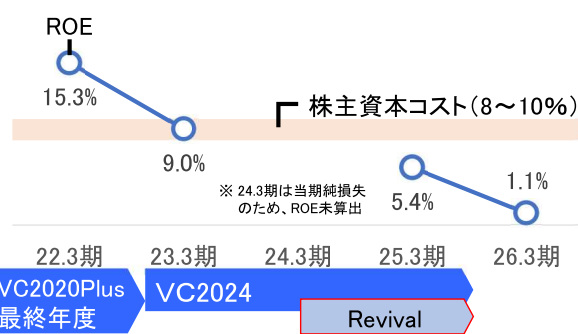
12

■ 2026年3月期の地域別・業種別売上の内訳(FA売上含む)

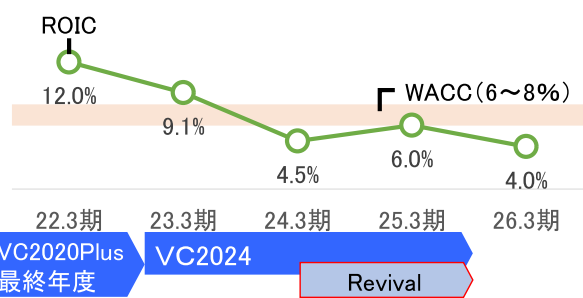
資本コストや株価を意識した経営(現状分析)

ROE、ROICが目標を下回り、資本収益性と株式市場での評価の両面で改善が必要

- 直近PBR(株価純資産倍率)推移は0.6倍前後と1倍割れが続いている
- ROE(株主資本利益率)は株主資本コストを、ROIC(投下資本利益率)はWACC(加重平均資本コスト)を共に割り込む数値推移
- 資本収益性と、株式市場での評価の両面において、向上に向けた取組みが必要
- 営業利益・資産回転率向上によるROE・ROICの改善と、株式市場に対する成長期待の浸透が課題
- ※ 当社では、株主資本コスト及びWACCは、CAPMIに基づき自社にて算定後、外部専門家による助言により確定



【計算式】ROE=当期純利益÷株主資本の期首・期末平均



【計算式】ROIC=NOPAT(税引き後営業利益)÷(有利子負債+株主資本)の期首・期末平均

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

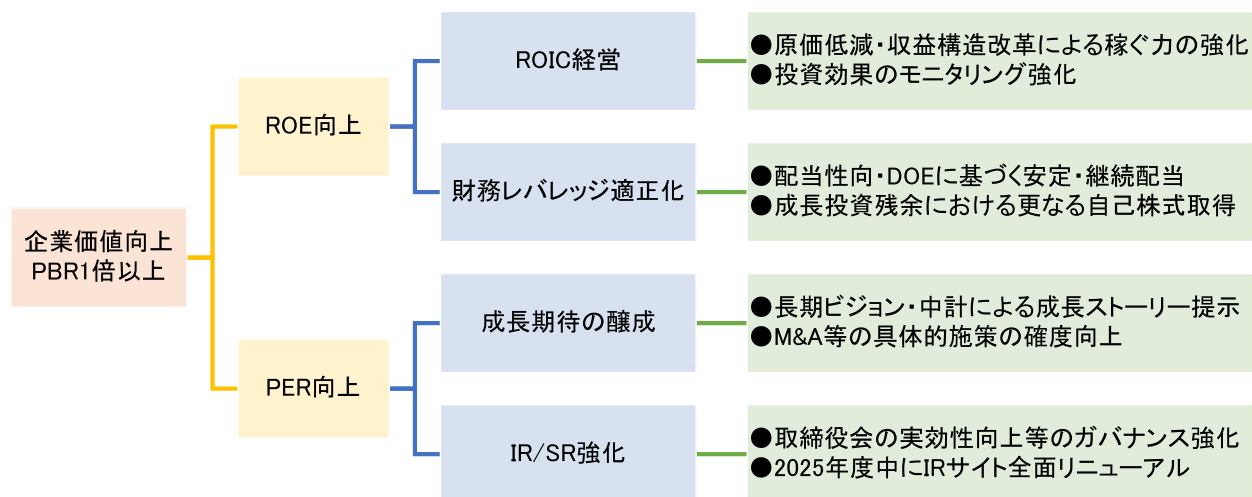
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

13

- 資本コストや株価を意識した経営に対する取組み
- 現状分析として、直近では、PBRの推移が0.6倍前後と1倍割れが続いていることに加え、ROEが株主資本コストを、ROICがWACCを、ともに割り込む数値推移
- 当社においては、資本収益性と、株式市場での評価の両面において改善が必要な状況であると分析
- これに対しては、営業利益や資産回転率を引上げてROE・ROICを改善することや、株式市場における当社の成長期待を浸透させることが課題と認識

資本コストや株価を意識した経営(取組み)

継続してROIC経営に取組み、企業価値の向上を図る



- 資本コストや株価を意識した経営に対する具体的な取組み内容
- PBRをROEとPERに分解したうえで、PBRを高めるためには、ROEとPERそれぞれの向上を図る必要あり
- ROEの向上策としては、これまで取り組んで来た「ROIC経営」を継続していき、資本収益性の向上を図る
- 具体的には、原価低減・収益構造改革により稼ぐ力を強化する一方、設備投資等の投資効果のモニタリングを強化し、資産効率を高める
- 一方、適正な自己資本比率を確保しつつ、株主還元積極的に取り組むことで、財務レバレッジを適正化
- 次にPERの向上策としては、株主・投資家の当社に対する成長期待を醸成することで市場評価を高める
具体的には、長期ビジョンや中期経営計画を通じて当社の成長ストーリーを積極的にアピールするとともに、M&Aなどのインオーガニック投資等の施策でしっかりと成果を出す
- 取締役会の実効性向上によるガバナンス強化や、IR活動の強化にも取り組む
- これらの取組みにより、PBR1倍以上を目指し、さらに継続的な企業価値の向上を図る

キャピタルアロケーションの考え方

B/Sやキャッシュフロー配分の最適化により資本収益性・企業価値の向上を図る

キャピタルアロケーションの基本方針

基本方針: 適正な「キャピタルアロケーション」を通じて中長期的な企業価値の最大化を図る

- ① 企業価値向上に資する設備投資、M&A投資、研究開発投資、人的資本投資、サステナビリティ投資への資金充當を最優先とする
- ② 「株主還元方針」に則り、安定的・継続的な配当を実施する
必要投資・利益分配後に残った余剰資金については、機動的に自己株式の取得等を通じて株主へ還元する
- ③ ①及び②の原資として、事業価値増大により、継続的な営業キャッシュフロー創出を図るほか、必要に応じて、有利子負債等の活用により資金調達を行う
- ④ 資金調達・株主還元に当たっては、適正な手許流動性を確保するとともに、最適資本構成と財務の健全性の維持を図る

(参考)株主還元方針

- ① 配当は、安定的・継続的かつ連結業績への連動性を意識した利益配分とすることを基本に、「連結配当性向30%以上、かつ株主資本配当率(DOE)3%以上」を指標として、財政状態や資金需要等を総合的に勘案した上で決定する
- ② 自己株式取得は、財政状態や株価等の市場環境の動向を踏まえ、必要に応じて機動的に実施する

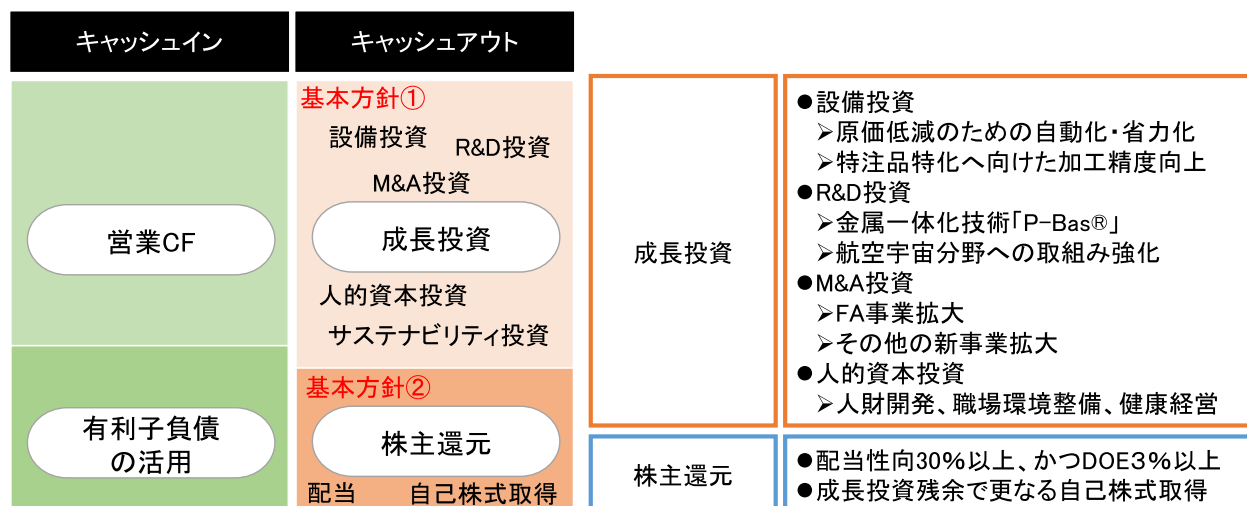
- 資本コストや資本収益性を意識した経営の実現のためには、「キャピタルアロケーション」の考え方を明確化し、バランスシートやキャッシュフロー配分の最適化を図る必要があると認識

「キャピタルアロケーションの基本方針」として、4項目を設定

- 本方針の中では、あくまでも中長期的な企業価値最大化が最終目的であるとした上で、まず成長投資を最優先に実施していくこと、そして株主還元にも積極的に取り組むこと、資金調達は必要に応じて有利子負債等を活用すること、そして、これらの施策の基本として、適正な手許流動性、最適資本構成、財務基盤の健全性を維持していくことを明記

キャピタルアロケーションのイメージ

財務基盤の健全性を確保し、成長投資を最優先に株主還元へも注力



■ キャピタルアロケーションのイメージ

- 成長投資を通じて、事業価値を高め、次の投資の原資となる営業CFを継続的に創出していくことが事業の基本
- 一方、M&Aなどのインオーガニックな成長投資には、内部からの営業CFだけでは不足する場合も想定されるので、積極的に有利子負債の活用も勘案
- 安定的・継続的な配当に加えて、成長投資の残余については、機動的な自己株式取得などを通じて、積極的に株主還元を実施
- その際に、適正な手許流動性、最適資本構成、財務基盤の健全性の維持に常に配慮していくことが重要なポイント
- 今回は基本的な考え方のみの提示となるが、来年度からの中期経営計画公表の際には、具体的な数値を示して、中計期間のキャピタルアロケーションの計画を提示し、その後、計画に対する実績の進捗を報告していく予定

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

■ 中期経営計画

➤ https://www.punch.co.jp/ir/med_management.html

■ 決算短信

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

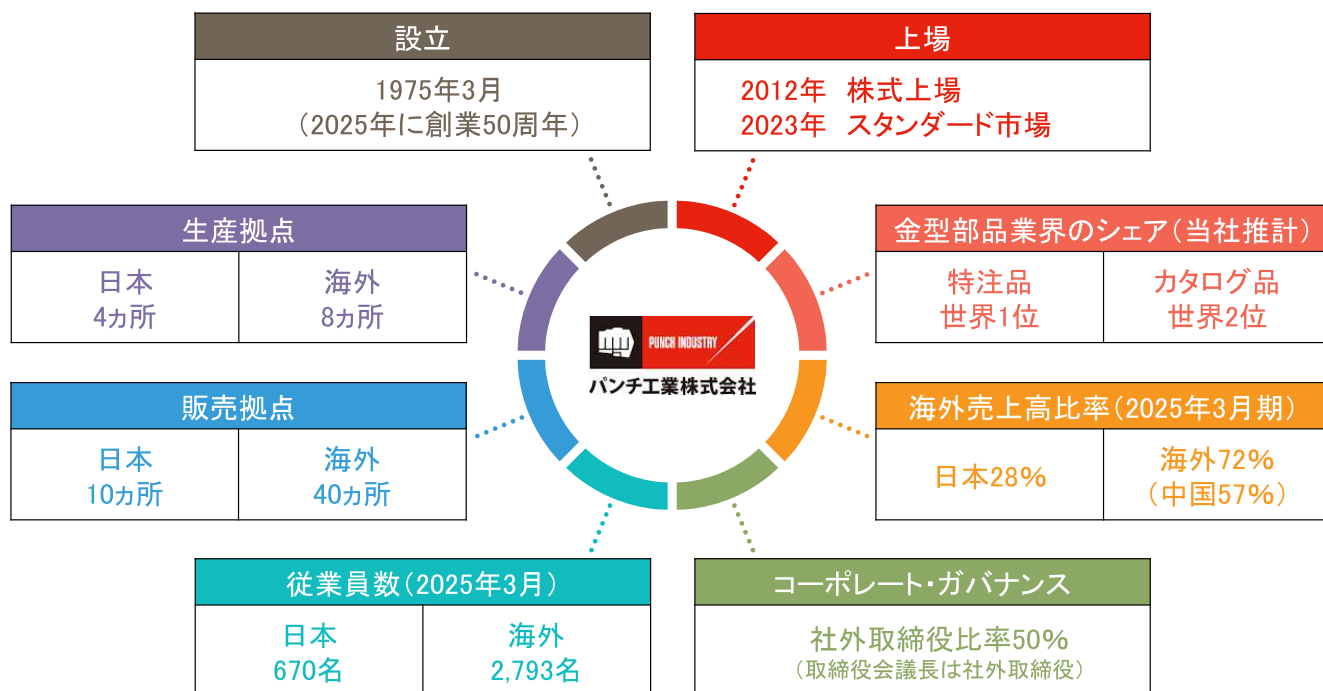
■ 決算説明資料

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

■ IRニュース一覧

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/2025/>

ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日 職歴

森久保 哲司
(1977年1月22日)



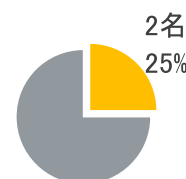
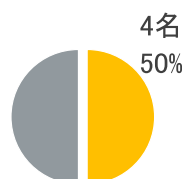
2003年5月	当社入社
2005年2月	盤起工業(大連)有限公司
2012年11月	バリュー・クリエーション推進室長
2013年4月	経営企画室長
2015年4月	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
2016年5月	執行役員
2018年6月	取締役 上席執行役員 経営戦略統括
2019年4月	最高戦略責任者 グループ事業統括
2019年6月	代表取締役(現任) 副社長執行役員
2019年11月	社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

取締役体制

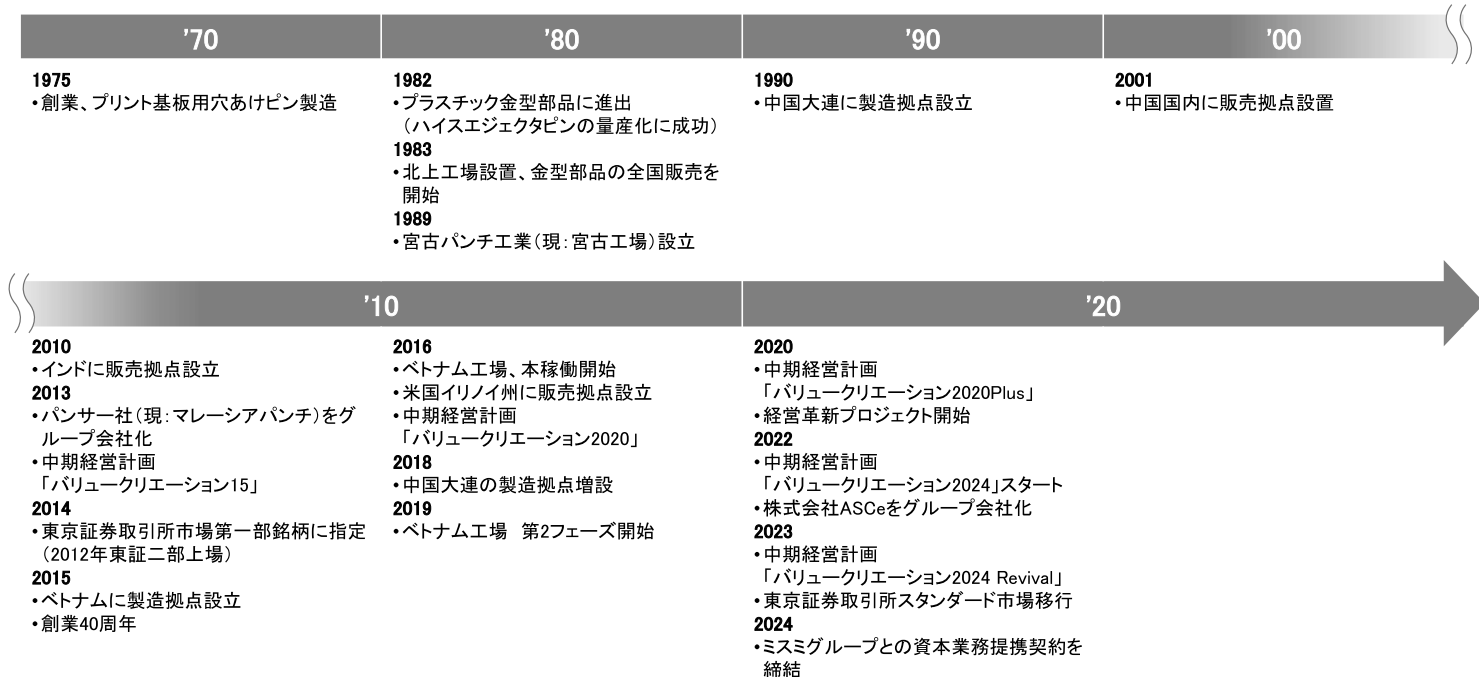
取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率

女性取締役比率



パンチグループ沿革



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

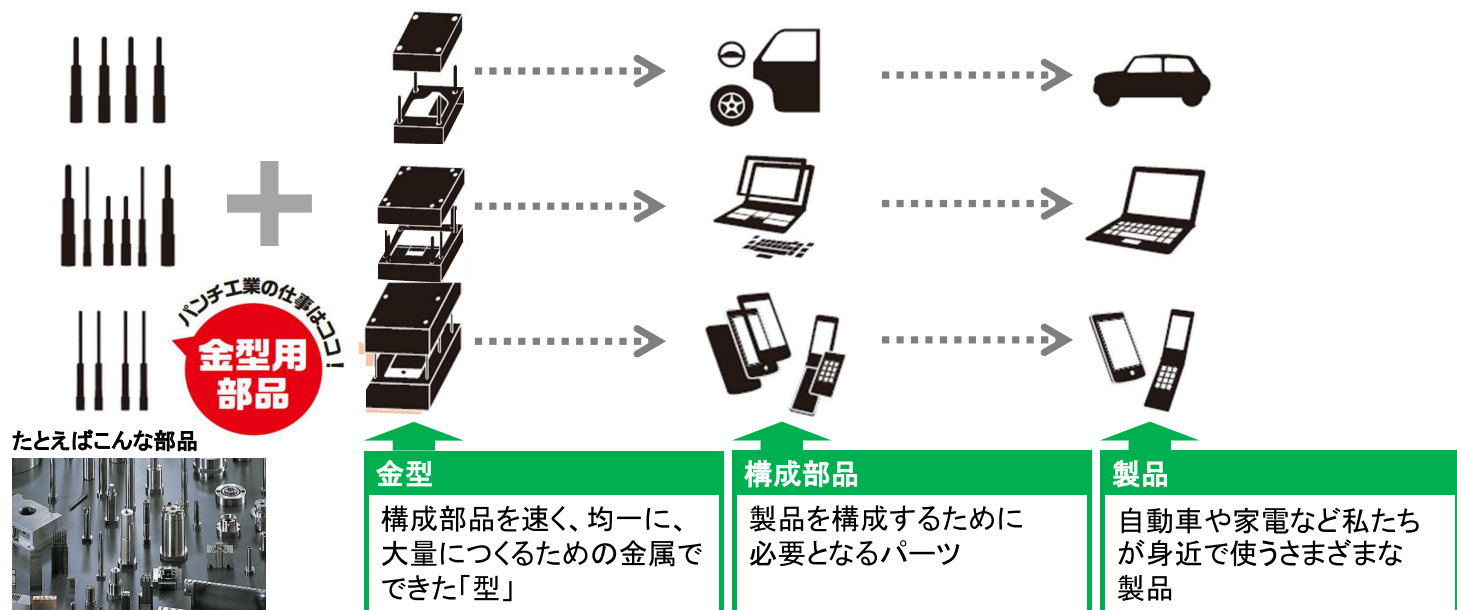
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

20

20

事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

21

パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。

パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ&カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計

カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインアップ

PunchCoco



タイムリーで
的確な
ソリューション

一気通貫の
生産体制
2,000台の設備で
幅広い対応力

お客様密着型の
営業体制
きめ細かな
対応・提案力

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応

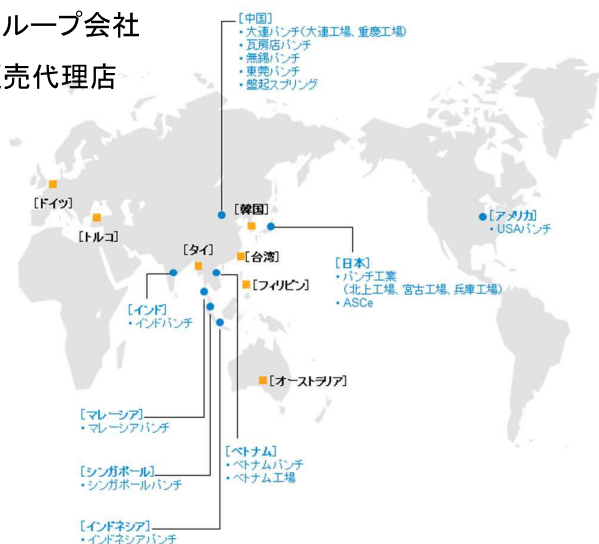


高い技術力
創業以来培った
ノウハウと
たゆまぬ研究開発

パンチグループのネットワーク

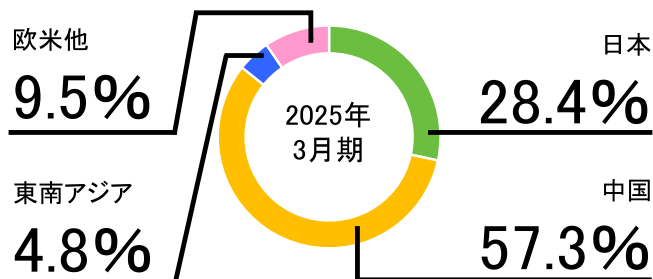
グループ会社

販売代理店

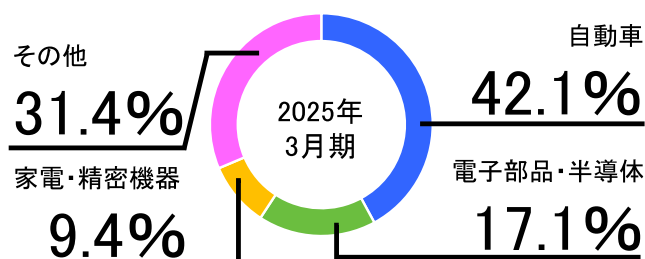


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

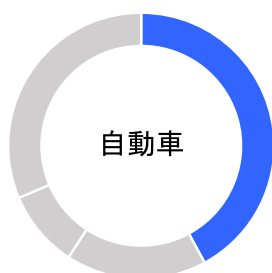


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



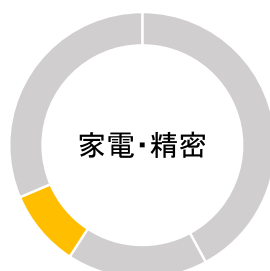
主要顧客

自動車メーカー
及びTier1,2
金型メーカー



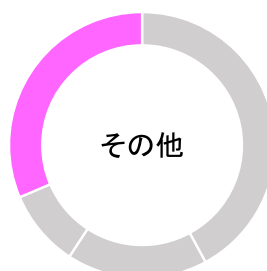
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー

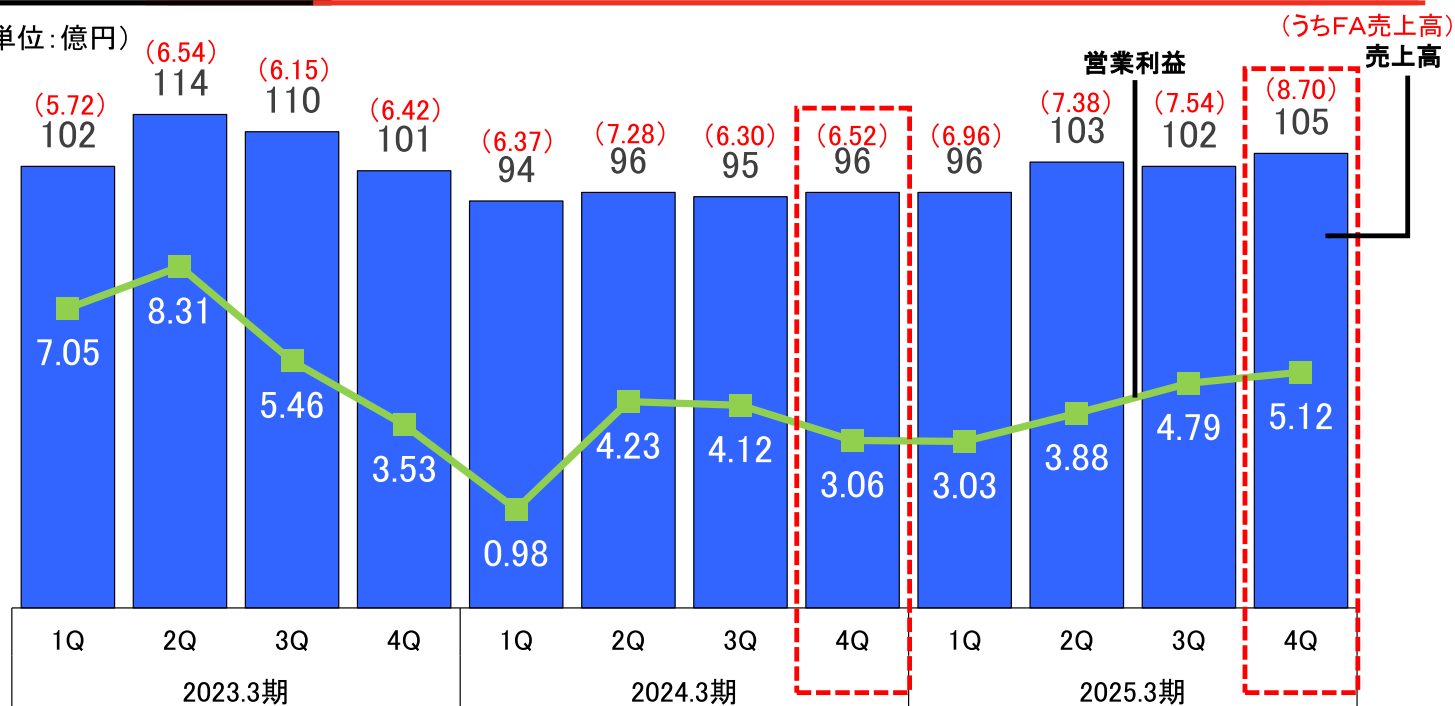


パンチグループ



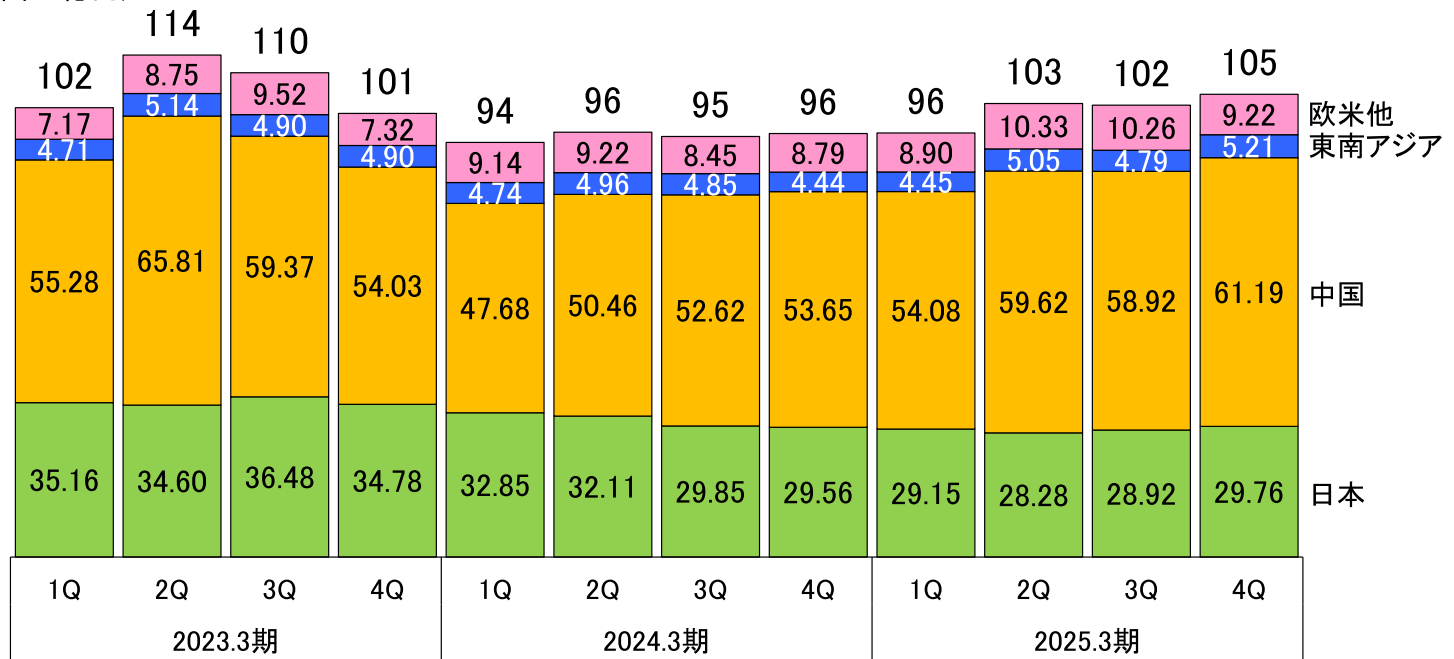
売上高と営業利益の推移

（単位：億円）



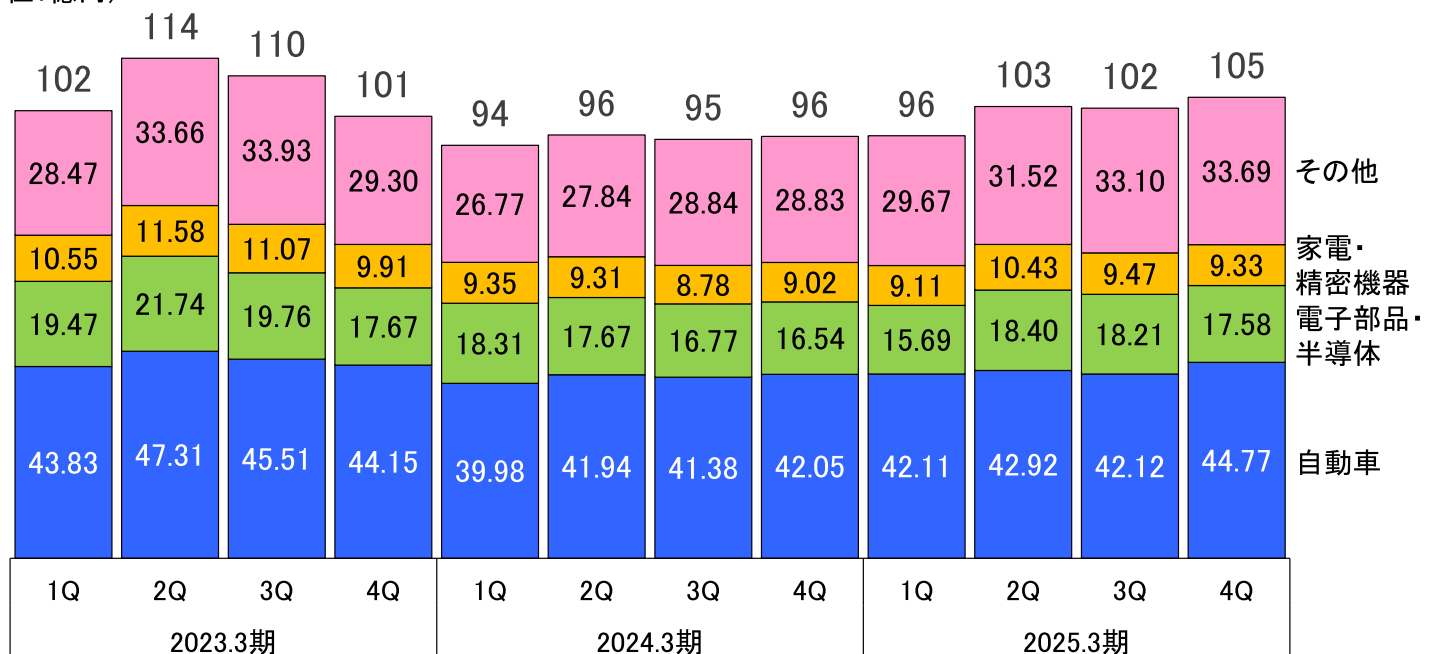
地域別売上高

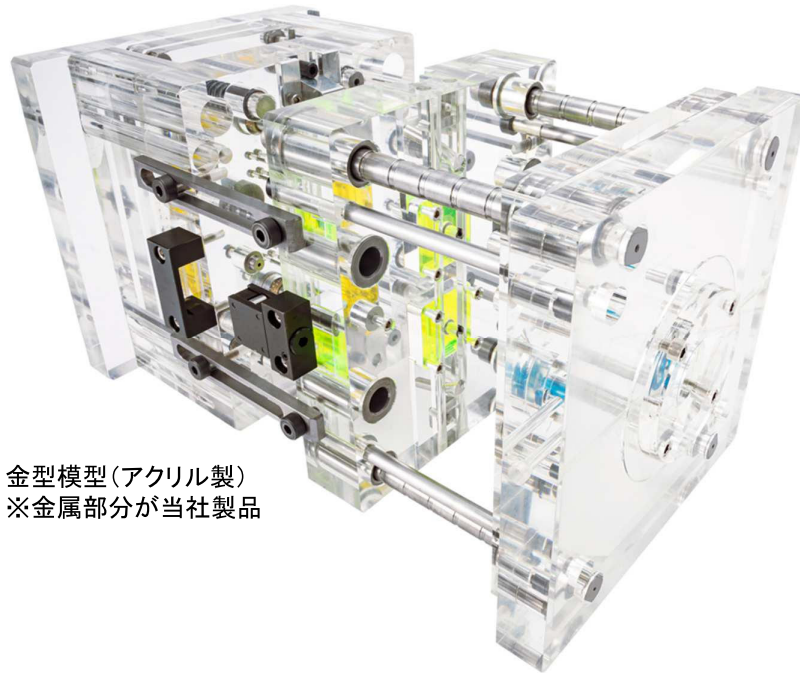
(単位:億円)



業種別売上高

(単位:億円)





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。